

「日大口腔科学」投稿の手引き

【令和4年6月改正】

日本大学口腔科学会
【日大口腔科学編集委員会】

「日大口腔科学」投稿の手引き

平成13年4月1日制定
平成16年4月1日改正
平成17年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成23年4月1日改正
平成28年4月1日改正
平成30年9月2日改正
令和元年9月1日改正
令和4年6月6日改正

(趣旨)

第1条 この手引きは、「日大口腔科学」投稿規程に基づき、日大口腔科学の投稿に関する必要事項について定める。

(倫理等に関する事項)

第2条

- ① 人を対象とする生命科学・医学系研究に関しては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」その他関係法令等及び所属機関の関連規程等を遵守しなければならない。又、所属機関の倫理審査委員会等の承認を得た上で、承認番号等を明記しなければならない。
- ② 動物実験等を伴う研究に関しては、「動物の愛護及び管理に関する法律」等の関係法令等及び所属機関の関係規程等を遵守しなければならない。又、所属機関の動物実験委員会等の承認を得た上で、承認番号等を明記しなければならない。
- ③ 遺伝子組換え実験を伴う研究に関しては、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」等の関係法令等及び所属機関の関係規程等を遵守しなければならない。又、所属機関の遺伝子組換え実験安全委員会等の承認を得た上で、承認番号等を明記しなければならない。
- ④ その他の特殊な医学系研究に関しては、各関係法令等及び所属機関の各関係規程等を遵守しなければならない。又、所属機関の倫理審査委員会もしくはそれに準じる機関の承認を得た上で、承認番号等を明記しなければならない。
- ⑤ 第2条第1号から第4号の研究に関する投稿については、次の事項に注意する。
 - (1) 本論文の「方法」内に、関係法令等を遵守した旨と各委員会等の承認番号等を明記すること。
 - (2) 筆頭著者をはじめ、すべての著者は、所定の確認書及び承諾書に署名、捺印をすること。
 - (3) 本論文のすべては、他誌に未発表・未掲載であること。
 - (4) 投稿論文において不正が明らかになった場合は、すべて著者が責任を負うこと。
- ⑥ 本誌に投稿される症例報告等、人を対象とした生命科学・医学系研究に関する報告については、第3条のプライバシー保護に関する申し合わせに留意する。
- ⑦ 謝辞及び利益相反に関する事項
 - (1) 謝辞及び利益相反に関しては、本文の最後、参考文献の前に「謝辞及び利益相反」の見出しで記載する。
 - (2) 利益相反がない場合は、「本論文に関して、開示すべき利益相反はない」と記載する。
 - (3) 研究内容に関わる助成や支援があった場合は、次の文言を論文末尾、引用文献の前に記載する。

「本研究は JSPS 科研費 JP12345678 の助成を受けたものです。」

(プライバシーの保護)

第3条

- ① 患者の顔写真は論文の内容に不可欠な場合を除いては、原則として受け付けない。顔写真を掲載する場合には、目隠しのうえ、必要な部位（下顔面のみ等）にとどめる等の配慮を施す。
- ② 患者の顔写真又は症例報告を掲載する場合には、対象者に対して十分な説明をするとともに、所定の「症例報告」同意書に対象者の署名をもらい、説明者は署名・捺印の上、編集委員会に提出する。

(投稿論文の作成・提出方法)

第4条

- ① 投稿論文は、パソコンを使用して作成する。
- ② 用紙はA4判を使用し、和文の場合、おおむね36字×25行、欧文の場合、おおむね80字×25行で作成する（実際の本誌レイアウトは、和文はおおむね25字×42行×2段組、欧文はおおむね45字×52行×2段組となる）。書体については、和文は明朝体、欧文はTimes New Romanでの作成とする。「文献」については、「第9条「文献」の書き方」に従って記載する。
- ③ 文章の区切りは、和文の場合、すべてコンマ「、」と句点「。」、欧文の場合、コンマ「,」とピリオド「.」に統一する。
- ④ 投稿論文は、次の順序にそろえ、要旨から文献までは頁付けをする。ただし、短報の場合は、和文・欧文とも要旨は不要となる。
 - (1) 投稿表紙
 - (2) 確認書
 - (3) 承諾書
 - (4) (該当する場合のみ)「症例報告」同意書
 - (5) チェックリスト
 - (6) 論題表紙（論題・所属・氏名を和文・欧文で1頁に記載）
 - (7) 和文キーワード・要旨
 - (8) 欧文キーワード・要旨
 - (9) 本文
 - (10) 文献
 - (11) 図・表
- ⑤ 投稿論文は、メールにて編集委員会に提出する。提出するデータは、テキストファイル又はWindowsで読み取り可能な状態で保存したものとする。
- ⑥ 査読が終了した後、最終原稿をメールにて編集委員会に提出する。
- ⑦ 投稿論文中にカラーの図・表を含む場合、査読後の最終原稿においてもカラーとし、費用は著者負担とする。

(投稿表紙・論題表紙の書き方)

第5条

- ① 欧文論題の単語の語頭は、大文字を使用する。ただし、冠詞、前置詞、接続詞等は小文字、学術専門用語については著者の表記による。
- ② 欧文著者名は、一般的な表記とし、語頭以外すべて小文字を使用する。共著者の併記は、コンマ「,」で区切り、「and」は使用しない。
- ③ 著者の所属の表記は、資料2～4による。
- ④ 共著者の所属が異なる場合、著者名及び所属は、和文・欧文とも肩につける数字（^{1, 2, 3, …}）で対応する。記入位置は、著者名は右肩、所属は左肩とする。
- ⑤ 欧文の大学住所の表記は、簡略表記「Matsudo, Chiba 271-8587, Japan」に統一する。

- ⑥ 表題が和文論文の場合概ね31字以上、欧文論文の場合概ね51字以上（スペース含む）の場合、ランニングタイトルを記載することが望ましい。ランニングタイトルは、和文論文の場合30字以内、欧文論文の場合50字以内（スペース含む）で記入する。
- ⑦ キーワードは5語以内とする。欧文キーワードは、原則として単数形、特殊記号以外の単語の語頭は小文字で表記する。和文キーワードと欧文キーワードは一致させる。

（要旨の書き方）

第6条

- ① 和文要旨は1,000字以内、欧文要旨は300語以内とする。
- ② 「原著」論文の場合、要旨は本文の各項目を要約した形式とする。ただし、「短報」の場合、要旨は不要となる。

（本文の書き方）

第7条

- ① 本文にはページ毎に5行おきで行番号を表示する。
- ② 「原著」の構成順序及び項目表記は、緒言（Introduction）、材料及び方法（Materials and Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、結論（Conclusion）、謝辞（Acknowledgements）、文献（References）などとする。
- ③ 上記の見出しの項目（緒言・材料及び方法・結果・考察等）にさらに細かく項目をたてる場合は、次の種類及び順序で用いる。 1. 1) (1) a. a) (a)
- ④ 「短報」は刷り上り4頁以内とする。
- ⑤ 単位記号は、国際単位系（SI）を使用する。

（図・表について）

第8条

- ① 図の表記は「Fig.」を、表の表記は「Table」を使用する。
- ② 表のタイトルは表の上部左端から記載する。数行にわたる場合は、表の左右の幅いっぱいを使用して記載する。図のタイトルは図の下部左端から記載し、内容の説明文をつける。図・表のタイトル及び説明文はなるべく英文が望ましい。
- ③ 図・表及び写真はA4の用紙に貼付したうえ、「Fig. 1」「Fig. 2」…「Table 1」「Table 2」…、等を明記し、用紙の右下には筆頭著者名及び刷り上がりの大きさ（横寸法）を全段（16cm）もしくは片段（8cm）と明記する。フリーサイズの場合には、その縦横寸法を明記する。また色の指定をカラーもしくはモノクロと明記する。
- ④ 表は罫線の使用を最小限にし、特に縦罫線は用いないで作表する。

（「文献」の書き方）

第9条

- ① 引用文献・参考文献等については、タイトルの表現を「文献」に統一する。
- ② 文献の番号は、頭に1) 2) 3) …のナンバーをつけ、引用順に記載し、引用箇所の右肩に番号をつける。
- ③ 和文投稿論文で本文に共著者のいる論文を引用する場合
著者名の引用については、引用論文が和文・欧文にかかわらず、筆頭著者1名のみを表記し、「…ら」とする。
表記例：「山田ら¹⁾」、「Whiteら²⁾」
- ④ 欧文投稿論文で本文に共著者のいる論文を引用する場合
(1) 著者2名のときは、筆頭著者と共著者を併記する。
表記例：「Larjava and Uitto¹⁾」
(2) 著者3名以上のときは、筆頭著者「et al.」とする。
表記例：「White, et al.²⁾」

ただし、「文献」欄への記載には、共著の場合は筆頭者を含め3名まで記し、4人目以上は「他」又は「et al.」と略す。

- ⑤ 欧文文献の単語の語頭は、冠詞、前置詞、接続詞を除き、大文字とする。
- ⑥ 2名以上の共著者の場合、著者名の区切りはすべてコンマ「,」とし、4人目以上は「他」とする。欧文著者名の場合、最後の人名の前に「and」は入れない。4人目以上は「et al.」とする。
- ⑦ 和文著者名の名字と名前の間にはスペースを設けない。
- ⑧ 欧文著者名の Last Name と First Name の間は1文字空け、First Name と Middle Name はイニシャルによる接続表記とする。(イニシャルにピリオド「.」は入れない)
- ⑨ ed. 等の略記のピリオドは省く。「ed.」→「ed」

⑩ 雑誌の場合

著者名、共著者名：論題、雑誌名、巻数：始めページ数-終わりページ数、発行年。

雑誌名、巻数：始めページ数-終わりページ数、発行年. は、ゴシック体で表記する。

雑誌名は、医学中央雑誌や Index Medicus の略表記により記載する。

- 1) 日大太郎, 日大花子, 松戸四郎, 他: 化学者からみた歯科材料の為害性, 口腔病会誌, 54: 517-526, 1987.
- 2) Chow AM, Roser SM, Smith GLA, et al.: Fourier Analysis of the Dental Arch Form, Dent Clin North Am, 33: 28-35, 1989.

⑪ 単行書の場合

著者あるいは編者名：書名、版次、引用ページ、出版社、出版地、出版年。

- 1) 口腔細菌学談話会編：歯学微生物学，第3版，201-222，医歯薬出版，東京，1975.
- 2) Burnett GW, Scherp HW, Schuster GS, et al.: Oral Microbiology and Infectious Disease, 4th ed, 219-258, Williams and Wilkins, Baltimore, 1976.

⑫ 双書の場合

(1) 双書（和書）

著者名：その節あるいは章の論題；書名（編者），巻数，版次，引用ページ，出版社，出版地，出版年。

- 1) 日大太郎：胃の悪性腫瘍；放射線医学体系（3人まで，他），19A，第2版，47-57，中山書店，東京，1985.

(2) 双書（洋書）

著者名：その節あるいは章の論題；*in* 注) 書名（編者），巻数，版次，引用ページ，出版社，出版地，出版年。
注) イタリック体で表記する。

- 1) Scott RPW: Mechanism of Solute Retention in Chromatography; *in* Chemical Analysis (Wineforder, JD, et al. ed), Vol. 98, 2nd ed, 117-144, John Wiley & Sons, New York, 1989.

⑬ 翻訳書

著者名；翻訳者名：日本語の書名，版次，引用ページ，出版社，出版地，出版年；原語の書名，版次，出版社，

出版地, 出版年.

- 1) Santos J Jr.; 日大太郎, 他 (訳): 図説生理咬合学入門, 初版, 1-16, 医歯薬出版, 東京, 1990; Occlusion-Principles and Concepts, 1st ed, Ishiyaku Euro-America, St. Louis, 1985.

⑬ その他の記述形式

(1) 電子ジャーナル

著者名, 共著者名: 論題, 雑誌名, 巻数: 始めページ数-終わりページ数, 発行年, 媒体表示* (参照日付)

雑誌名, 巻数: 始めページ数-終わりページ数, 発行年, はゴシック体で表記。印刷される前に電子ジャーナルで公開されているものは, 発行年のあとに (Epub ahead of print) と記す。

*通巻ページが不明な場合は DOI を記す。

- 1) 日大太郎, 日大花子, 松戸四郎, 他: デジタル画像の画質と被ばくを考慮した適正線量の研究, 日本放射線技術学会雑誌, 67: 581-597, 2011.

- 2) <https://doi.org/10.9006/jjrt.67.0581>. (2017-10-15)

Asahi I, Jhonson W, Matsudo H, et al.: Influence of duration of phosphoric acid pre-etching on bond durability of universal adhesives and surface free-energy characteristics of enamel, Eur J Oral Sci, 124: 277-286, 2016.

- 3) doi: 10.7111/eos.12234. (2017-10-15)

*ページ付けがない場合は, 通常のページ記入場所に論文番号を記入する。

(2) インターネットウェブサイト

発行元: 記事名, ウェブサイトアドレス (アクセス日)

- 1) 厚生労働省: 平成 23 年歯科疾患実態調査,

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/62-23.html> (2017 年 10 月 15 日)

- 2) World Health Organization: Continuous improvement of oral health in the 21st century,

http://www.who.int/oral_health/en/ (Accessed 2017-10-15)

(投稿論文の受理)

第 10 条

投稿論文の査読終了後に「受理証明書」を発行する。「受理証明書」をもって掲載証明書とする。投稿論文の採否, 掲載順序は編集委員会が査読を行った後, 決定する。なお, 編集委員会が必要と認めた場合, 著者に原稿の一部書き直しを依頼することができる。

(校正)

第 11 条

著者校正は再校までとし, 原稿の改変は認めない。明らかな誤り等で一部変更になる場合は, 編集委員会の許可を得て修正する。

(原稿の受付と発行)

第 12 条 原稿は常時受付のものとし, 原稿の提出締切日及び本誌の発行日は, 次のとおりとする。受付けた際には, その旨

をメール等で著者あてに連絡する。

号数	提出締切日	発行日
1号	12月10日締切	3月1日発行
2号	3月10日締切	6月1日発行
3号	6月10日締切	9月1日発行
4号	9月10日締切	12月1日発行

※ 締切日までに投稿された原稿であっても、査読の終了期日により掲載が次号となる場合もある。

附 則

この手引きは、令和4年6月6日から施行する。

資料1 投稿及び掲載論文の種類と基準 (第49巻1号以降)

1. 原著論文 (教養・基礎・臨床) (Original) : 原著は, 自然科学系研究論文の基本をなすもので, 著者としての研究の成果を踏まえ, 文献を参考にしながら考察を行い, 独創性を含んだ結論に至る, それ自身独立して完結した内容の論文をいう。
2. 臨床報告 (症例・技術工夫など) (Research Paper) : 臨床報告は, 珍しい臨床経験や剖検例, 新薬の使用経験, 患者に関する統計結果などを紹介する論文をいう。
3. 短報 (Brief Communication) : 短報は, より簡潔な形で報告可能な内容からなる短い論文をいう。
4. 研究報告 (Study Report) : 上記の1から3のいずれにも該当しないが, 掲載する意義のある論文をいう。
5. 解説 (Explanatory Article), 総説 (Review Article) : 解説は, 著者の専門的な研究領域についての最新の研究成果や実験方法などの学術的情報を関連文献, 資料に基づいて総括的に解説する論文をいう。総説は, ある課題について広く研究の動向を紹介したり, その分野における現時点での最も新しい研究成果などを解説する依頼論文をいう。
6. その他 (Others) : その他とは上記のカテゴリーのいずれにも属さない投稿をいう。

資料2 所属表記

【日大松戸歯学部所属の場合】

日本大学松戸歯学部 ○○○学講座

Department of ○○○, Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Matsudo, Chiba 271-8587, Japan

※ 各講座名は巻末の一覧表を参照する。

朝日 一夫¹, 毎日 三男², 山田 五郎³, 鈴木 四郎⁴

日本大学松戸歯学部 ¹生化学・分子生物学講座, ²感染免疫学講座, ³病理学講座, ⁴薬理学講座

Kazuo Asahi¹, Mitsuo Mainichi², Goro Yamada³, Shiro Suzuki⁴,

Departments of¹Biochemistry and Molecular Biology, ²Microbiology and Immunology, ³Pathology, ⁴Pharmacology,

Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Matsudo, Chiba 271-8587, Japan

【開業歯科医師の場合】

例1 : ○○歯科医院 ○○県△△市開業

例2 : ○○歯科医師会

例3 : ○○研究会

※ 英文表記も記載すること。

※ 【他機関所属の場合】は上記に準ずる。

資料3 大学院生の論文の所属表記

日本大学大学院松戸歯学研究科 ○○○学専攻

Nihon University Graduate School of Dentistry at Matsudo, ○○○, Matsudo, Chiba 271-8587, Japan

※ 各大学院専攻学科目名は巻末の一覧表を参照する。

【単著論文の場合】

日大 太郎

日本大学大学院松戸歯学研究科 口腔診断学専攻

Taro Nichidai

【共著論文の場合 ― 所属講座が同じ場合】

松戸 二郎, 矢切 渡¹

日本大学大学院松戸歯学研究科 歯内療法学専攻

¹ 日本大学松戸歯学部 歯内療法学講座

Jiro Matsudo, Wataru Yakiri¹

Nihon University Graduate School of Dentistry at Matsudo, Endodontics

¹ Department of Endodontics, Nihon University School of Dentistry at Matsudo

Matsudo, Chiba 271-8587, Japan

【共著論文の場合 ― 所属研究室が複数の場合】

江戸川 大輔, 柏 夕子¹, 馬橋 光太郎², 常盤 千住³, 日大 誉¹

日本大学大学院松戸歯学研究科 口腔病理学専攻

日本大学松戸歯学部 ¹病理学講座, ²放射線学講座, ³組織学講座

Daisuke Edogawa, Yuko Kashiwa¹, Kotaro Mabashi², Senju Tokiwa³, Homare Nichidai¹

Nihon University Graduate School of Dentistry at Matsudo, Oral Pathology,

Departments of ¹Pathology, ²Radiology, ³Histology,

Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Matsudo, Chiba 271-8587, Japan

資料4 学生会員（学部学生）の所属表記

学生会員（学部学生）が「日大口腔科学」へ論文を投稿（含む共著）する場合には、所属表記は配属先の講座とする。

学部学生であることを明記する必要がある場合は、氏名に「*」を付記し、1 頁目の欄外に「*日本大学松戸歯学部 学部学生」（和文の論文）, 「*Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Undergraduate」（英文の論文）と記載する。

資料5 「日大口腔科学」の印刷契約業者の概算料金（令和4年9月1日現在）

組 版	1 頁	(500 字×4 枚半)	3,000 円
写真製版	1 点	(モノクロ)	600 円
写真製版	1 点	(カラー)	1,100 円
図 版	1 点		400 円
別 刷	50 部	(例：A4 版・10 頁の場合)	27,500 円

(料金は税抜)

以 上

【日大口腔科学】に関する問合せについては、下記の学会事務局までお願いいたします。

日 本 大 学 口 腔 科 学 会 事 務 局

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西 2-870-1 日本大学松戸歯学部 研究事務課 気付

TEL: 047-360-9559 / FAX: 047-364-6295

E-mail: jos-office.md.ml@nihon-u.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.mascat.nihon-u.ac.jp/nusos/>